大会名称: 第14回東北大学バスケットボールリーグ 兼全日本大学バスケットボール選手権大会 東北地区予選会

開催場所: 東北学院大学	泉キャンパス体育館		
試合区分: No. 3B1	1次リーグ	コミッショナー: 佐々木桂二	
期 日: 2012(H24)年9月	1日(土)	主審: 関根梨奈	
開始時間: 13:30		副審: 藤田陽介	
終了時間: 15:00			

富士大学	° 58	14 -st1- 14 13 -2nd- 8 16 -3rd- 14 15 -4th- 17 -0T1- -0T2-	• 53	岩手大学
------	----------------	---	---------	------

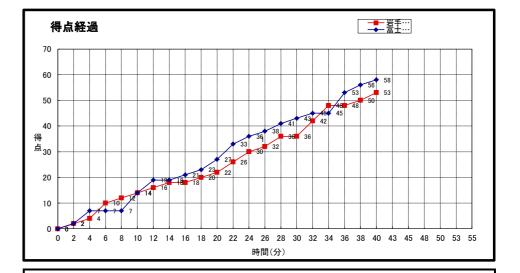
<u> </u>	_	7																
No.	s	選手名	PTS		FG		FG		Т	PF		BOUN		то	AS	ST	BS	MIN
		·		М	Α	М	Α	М	Α	TF	OR	DR	TOT					
3		田沢咲希	0	0	2	0	2	0			0	1	1	0	0	0		
		斉藤智美	13	0	1	4	13	5	4	3	2	5	7	0	2	0	0	
		松田有紀	17	5	16		2	0	2	3	0	5	5	0	1	0	0	
7		佐藤心	8	0	0		10	2			2	4	6	0	0	0	0	
9		長澤のぞみ	0	0	1	0	0	0				0	0	0	0	0	0	
10		三浦美穂	0	0	0		1	0			1	1	2	0	0	0	0	
		大川礼乃	6	2	3		1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	
13		鈴木彩	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
15		齋藤ひかり	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
21	*	工藤甘奈	8	0	0	4	5	0	0	1	2	5	7	0	1	0	0	
73		高橋里奈	0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	
0	*	佐々木彩	6	0	1	3	7	0	0	1	0	2	2	0	4	0	0	
17		佐藤愛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11		小林千草	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-		-	-	
16		織田紗梨奈	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
TEA	М																	
		合 計	58	7	27	15	42	7	9	15	9	25	34	0	8	0	0	0:0
				25.9% 35.7%					77.8%									

岩手	ij	大学 ニー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・																
NO.	s	選手名	PTS	3P M	FG A	2P M	FG A	M F	T	PF TF	RE OR	BOUN		то	AS	ST	BS	MIN
13	*	木村穂希	10	0	0	4	16	2	2	3	1	13	14	0	3	0	0	
		菅野遥華	17	0	7	5	14	7	8	0	2	4	6	0	3	0	0	
12		斎藤絢子	10	0	0	5	7	0	- 1	2	1	3	4	0	2	0	0	
17		後藤悠夏	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
21	*	佐藤実祐	6	0	2	3	5	0	- 1	4	0	5	5	0	0	0	0	
24	Г	佐々木柚帆	2	0	0	- 1	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
29		中村亜美	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
33		津川梓	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
49	*	鈴木普子	8	0	0	3	5	2	2	3	2	2	4	0	0	0	0	
	L																	
	L																	
TEA	M																	
		合 計	53	0	9	-	50	- 11		12	6	28	34	0	8	0	0	0:00
					0.0%		42.0%		78.6%									

MIN: 出場時間

OT: 延長





ゲームレポート

○第一ピリオド 出だしから、両チームのディフェンスが激しく、相手のミスを誘いシュートを外させるが ゴール下のシュートを確実に決め得点していく。岩手大の#13がリバンウンドを制しているが、富士大も 負けじとリバウンドに絡み14-14の同点で第1ピリオド終了。○第二ピリオド リバウンドでのファール が多く、両チームのミスが目立つ。特に富士大の#73が前半で3つも取られてしまい、ベンチに下がる。高さに欠けてしまうが富士大の#5がオフェンスをディフェンスで活躍している。岩手大の#13がオフェンスの起点となって、得点を重ねていた。両チーム一進一退の攻防が続き22-27で岩手大がリードを奪い、前半を折り返す。○第三ピリオド 開始早々、富士大の#12が3Pシュート決めると、さらに#6の3Pシュートで流れを掴む。岩手大も負けじと追いつこうとしているが、パスミスが目立ち中々点数が縮まらない。その間に富士大は3Pシュートやゴール下のシュートで量産する。36-43で富士大が逆転し最終 ピリオドへ。○第四ピリオド 岩手大の#6と#13が立て続けに点数を決め、差を縮める。開始4分で岩手大の#13がシュートを決め逆転する。富士大も要所要所でシュートを決め、差を詰める。富士大の#7がバスケットカウントを決めると、さらに加点し逆転する。そのまま逃げ切り、58-53で富士大が勝利した。○まとめ 前半は両チームのミスが多く、点数を多く重ねることができなかった。だが、第2ピリオドで富士大が加点していきリードする形になった。その後は、岩手大がリードしていた時もあるが、相手に流れを渡さず逆転した。

担当者:() 東北大学バスケットボール連盟